

学園の今を伝える立正大学学園新聞

RISSHO UNIVERSITY NEWS

P3 課外活動団体 活動報告
P5 立正人 デフバドミントン
日本代表として活躍する立正人

P9 キャリア 卒業生進路報告
P12 CIRCLE 2025
「強さを支えるものは信頼関係」

Vol. 162
Autumn 2025

今年も同時開催！橘花祭・星霜祭

ぜひチェックしてください！

＼ここからチェック！／



@RISSHO_UNIVERSITY

インスタで学生のリアルを発信中！

立正大学
「モラリスト×エキスパート」を育む。

品川キャンパス 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 / Tel.03-3492-5250
熊谷キャンパス 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 / Tel.048-536-6010

Website

学園新聞Web版はこちらから

立正大学マガジン



大学祭のお知らせ

品川キャンパスの橘花祭、熊谷キャンパスの星霜祭が
今年も同時開催決定！

橘花祭

KIKKASAI

テーマ

りょうこく

繚刻



橘花祭SNS

開催日程 品川キャンパス

2025年

11月1日(土) 10時～17時

2日(日) 10時～15時



正門側エアアーチを設置中の様子



大人気企画緑日村！今年度も開催します

第60回橘花祭のテーマは、「繚刻(りょうこく)」です。「繚刻」とは、美しく入り交じる「繚」と時を刻む「刻」という意味の漢字を組み合わせた造語です。橘花祭が私たち学生だけでなく、来場された方の人生の大切なワンシーンとなるように多様な個性が交わり、思い出が心に深く刻まれる祭典にしたいという願いが込められています。

橘花祭は橘花祭実行委員会が運営を行っており、来場者のみなさまをはじめ、橘花祭に関わる全ての方に心から楽しんでいただけるように準備を進めています。

今年も例年通り2日間の開催を予定しており、第60回の節目を迎える今年度の橘花祭では様々な企画を行います。その中でも、特に注目していたきたいものを2つご紹介します。

1つ目は、橘花祭のスタートを飾る盛大なパレードです。橘花祭1日目にゲートシティ大崎から立正大学の間を学内外のかわいいキャラクターたちが、吹奏楽部や応援指導部と一緒に進す



毎年恒例パレードの集合写真

る恒例企画です。ぜひ注目してください。

2つ目は、緑日企画です。お祭りでお馴染みの、輪投げや射的、スーパーボールすくいなどのゲーム、飲み物や綿菓子の販売も行います。毎年、小さなお子様から大人の方まで、幅広い層に人気の企画となっています。

橘花祭では、上記で紹介した企画以外にも、立正ミス・ミスターコンテストや新鮮で美味しい野菜の販売など、来場者の方々に楽しんでいただける企画を数多くご用意しております。そして、サークルやゼミ単位で行われる教室企画や模擬店企画では、各団体の個性あふれる企画でみなさまをおもてなしいたします。また著名人公演、キャラクターショーの開催も予定しております。

橘花祭を支えてくださる全ての方々に感謝の気持ちを届けるため、立正生が一丸となって作り上げる橘花祭をお楽しみください。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

星霜祭

SEISOUSAI

テーマ

Bloom

～咲き誇る自分たちへ～



星霜祭SNS

開催日程 熊谷キャンパス

2025年

11月1日(土) 10時～17時



星霜祭実行委員 集合写真

「星霜祭」という名前には、星は1年に天を1周し、霜は毎年降りることから11月(霜月)に、「毎年必ずやってくる、これからもずっと続いてほしい」という願いが込められています。

今回、第38回を迎える星霜祭テーマは『Bloom～咲き誇る自分たちへ～』です。

「Bloom」という単語は努力や個性を花開かせる瞬間を表しており、参加する全ての人にとって星霜祭が成長の場となり、自分らしさをより発揮する機会になってほしいという思いからテーマとしました。

第38回星霜祭の企画内容をご紹介します。まず毎年恒例のゲスト講演は、今年度も著名人をお招きする予定です。さらに、熊谷の地元企業を中心に展開するキッチンカーの出店では、昨年よりも店舗数を増やして実施を予定しております。また、大学祭ならではの課外活動団体や有志団体による展示企画や体験企画、パフォーマンス企画等も行われ、各団体が星霜祭に向けて着々と準備を進めています。そして、学内を巡るスタンプラリーを制覇すると参加できるビンゴ大会では、豪華景品をご用意しております。この他にも様々なミニゲームが楽しめる緑日企画も計画中です！

星霜祭は卒業生の来場が多く、同級生で集ま

る場や、課外活動団体の縦のつながりを作る場になっています。卒業生のみなさまには、ぜひ星霜祭にて、今現在の立正大学熊谷キャンパスの様子をご覧いただきたいと思っています。

コロナ禍では、開催の中止や学外からのお客様をお断りする時期もありました。また、実行委員の数の減少で存続そのものが危ぶまれる時期もありましたが、最近では知名度や委員数もコロナ前と同等レベルにまで回復しました。

学生はもちろんのこと、卒業生やご家族、ご友人などぜひお誘い合わせのうえご来場ください。私たちと一緒に星霜祭を盛り上げましょう！みなさまのお越しをお待ちしております。



「Hot Fergie」ダンス披露の様子

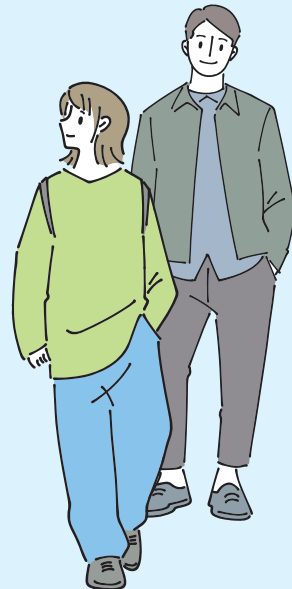




課外活動紹介

～本学の多彩な課外活動団体を紹介します～

本学には品川・熊谷キャンパスあわせて100以上の課外活動団体(クラブ・サークル)があり、特殊団体、独立団体、体育会、文化団体連合会、研究会連合、文化学芸・学術研究団体、スポーツ活動団体、スポーツ愛好同好会、文化学術愛好同好会の9ジャンルに区分され、日々活発に活動しています。課外活動を通して社会生活に不可欠であるコミュニケーション能力や行動力、リーダーシップ等を身につけることが期待でき、学業と両立しつつ、日々活動に取り組んでいます。



Pick Up

本学の課外活動団体の一部を紹介します。

独立団体 吹奏楽部



入学式での演奏や定期演奏会の開催、コンクール出場など精力的に活動しています。

〈主な活動実績(2025年7月時点)〉

- 2024年度東京都大学吹奏楽コンクール28年連続金賞受賞
- 2025年度立正大学入学式での式典演奏
- 2025年度スプリングコンサートの開催(学内実施)

〈今後の予定〉

- 立正大学吹奏楽部第59回定期演奏会(12月27日 ウェスタ川越)

体育会 柔道部

1部昇格と全国大会出場を目標に日々稽古やトレーニングに取り組んでいます。部全体のレベル向上のために練習や合宿を行い、積極的に活動しています。

〈主な活動実績(2025年7月時点)〉

- 2025年度全日本学生柔道優勝大会 東京学連選抜選出:湊 学也(3年)

体育会 剣道部

全日本剣道連盟の理念のもと礼節を学び、誠を尽くして自己の修練に努め、個人、団体ともに全日本大会に出場し上位入賞を目指して日々活動しています。

〈主な活動実績(2025年8月時点)〉

- 第71回関東学生剣道選手権大会(男子) 3回戦進出:石井 海都(2年)・戸田 皇聖(1年)
- 第57回関東女子学生剣道選手権大会 4回戦進出:鷹巣 紗里奈(4年)
- 第53回埼玉学生剣道新人戦大会 男子個人戦 第3位:大島 吾太(1年) 敢闘賞(ベスト8):大野 響真(2年) 戸田 皇聖(1年)
- 第51回埼玉女子学生剣道選手権大会 女子個人戦 第3位:福島 愛梨(1年)
- 第70回全日本仏教系大学剣道大会 男子団体第3位、男子個人戦第3位:鈴木 陽(3年)

〈今後の予定〉

- 第74回関東学生剣道優勝大会(9月7日 日本武道館)
- 第51回関東女子学生剣道優勝大会(9月20日 京王アリーナTOKYO)

体育会 排球部



現在関東大学バレーボール連盟男子2部リーグに所属しており、全日本インカレ出場、1部リーグ昇格を目標に日々練習に励んでいます。

〈主な活動実績(2025年7月時点)〉

- 2025年度春季関東大学男子2部リーグ戦第9位
- 2025年度東日本バレーボール大学選手権大会2回戦出場
- アクティオ杯ビーチバレージャパン カレッジ2025出場(浅岡・中嶋ペア)

〈今後の予定〉

- 2025年度秋季関東大学男子2部リーグ戦
- 第78回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会

文化団体連合会 鉄道同好会=REX=



設立から50年続く歴史ある団体で、鉄道を使った旅行を部員が計画・実施するなど、活発に活動しています。

〈主な活動実績(2025年7月時点)〉

- 秩父鉄道開業125周年・地理学科開設100周年記念ミニ企画展「秩父鉄道と立正大学—地域活性化に向けた取り組み—」への協力

課外活動団体の情報

課外活動団体の詳細を知りたい場合はクラブガイドブックをご参照ください。クラブガイドブックには、各団体の活動内容等が掲載されています。上記に掲載されている団体以外の情報も知ることができます。



クラブガイドブック
二次元コード





まつ の こと みち

松野 思迪 講師

所 属：経営学部

研究分野：インテリジェント・オペレーションズマネジメント
(スマートマニュファクチャリング、サプライチェーンマネジメント)、意思決定

Profile

博士(経営工学、早稲田大学)
早稲田大学創造理工学部経営システム工学科助手、同大学創造理工学研究科専任講師を経て、2024年4月より現職。

趣味/サッカーや野球観戦、旅行、ランニング、ゴルフ...

休日の過ごし方/休日にも研究に時間を充てることが多いですが、気分転換にスポーツ観戦やランニングなどでリフレッシュしています

好きなスポーツ/スポーツ全般(特にサッカー、アーセナルのファンで、エミレーツ・スタジアムにも観戦に行きます)

犬派・猫派/犬派

新しい技術を正しく使うために
「現場現物」を実践し、様々な課題解決を図るQ1
どんな研究をしているの？

私の研究は、工場の生産や物流の効率を高めると同時に、柔軟性や持続可能性を向上させることを目指しています。最適化手法、シミュレーション、AIなどを活用した意思決定支援により例えば作業者のスキル成長と生産効率の両立を考慮した仕事の割り振りや、作業の進め方を工夫し、全体にかかる時間を短くすると同時に、電気消費量やCO₂排出量の削減も実現する方法を研究しています。また、このような手法を農業にも応用しており、農産物を効率よく届けるための輸送方法を設計したり、規格外の青果物を無駄なく活用する仕組みを開発しています。こうした研究を通じて、社会システムの無駄を減らし、人々にとって役立つ新しい仕組みを生み出すことで、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。



松野先生の研究領域の全体像

Q2
その研究を始めようと思ったきっかけは？

私の専門分野はIE(インダストリアルエンジニアリング)という、生産や作業の効率を高めるための学問です。最初は、製造業の生産管理や品質管理、とくにTPS(トヨタ生産方式)に代表される管理方法に興味を持ち、どうすればムダ・ムリをなくしてよりよい製品を作れるかを勉強していました。しかし、最近の現場では「効率」だけでなく、環境への配慮や多様な人が活躍できる仕組み、持続可能な社会の実現など、様々な課題があることに気づきました。さらに、AIやデジタル技術が進化の中で、これらを活用すれば製造業だけでなく、農業や物流など他の分野の課題も解決できると感じました。こうした気づきが、現在の研究を始める大きなきっかけとなりました。

Q3
学生には4年間でどのようなことを学んでほしい？

これからの社会では、生成AIなどの新しい技術がますます進化していきます。便利になる一方で、自分で考え、正しく判断する力がこれまで以上に重要になります。そのためには、実際に現場で見て、体験し、データを自分の目で確かめる「現場現物」の実践が欠かせません。経営学部で学ぶみなさんには、数字やデータを活用して物事を分析し、根拠に基づいた意思決定ができる力を身につけてもらいたいと考えています。4年間の学びを通して、問題を発見する力や深く理解する力を養い、自分の意見を持ち、主体的に行動できる人へと成長していくことを期待しています。



みんなのゼミ自慢

あし べ あきら
芦部 彰 先生
(文学部史学科)



アシモトを固めて、卒論に向けて一歩ずつ

記事：すがわら はるかさん
よこ すみ か
横須賀 純華さん
いのうえ なごみ
井上 和さん
文学部史学科3年



2年生芦部ゼミ

文学部史学科のゼミナールは2年生から始まります。そのため、卒業論文に対してしっかりと準備を行えます。特に私たち芦部ゼミは、レポートや参考文献の書き方などの基礎的な力を多くの発表を経験していく中で学ぶことができます。

芦部ゼミの特徴は、西洋史の中でもドイツ史を中心に様々なテーマを詳しく学べるところです。2年生の前期では、先生が用意した文献を各自読み、内容を全員が発表

し、質疑応答を行います。2年生後期からは個々の研究テーマに沿った発表を行い、卒論に向けた具体的な内容になっていきます。学生が主体となり議論が進んでいくところも大きな特徴です。その結果、3・4年生は、20世紀を中心に、ポーランドの対独レジスタンス、欧州諸国の出産奨励政策とその社会的背景、赤十字をはじめとする国際人道主義組織の展開、ナチスの疑似宗教性、さらにはドイツと米国の都市計画の比較など、実に多様なテーマに取り組んでいます。

芦部ゼミの中で一番のイベントは、ゼミ生だけでなく芦部先生も参加してくださるご飯会です。ここでは、生徒同士に限らず先生との仲も深めることができます。このような授業以外での交流時間もあることから、ゼミはアットホームかつ和やかな雰囲気、発言がしやすい空間になっているといえます。

卒業論文の準備は、2年生の夏期休暇から段階的に始

まります。長期休暇に各自レポートを作成し、それを全体で発表します。学生同士で意見を出し合ったり、芦部先生からも多くのアドバイスをいただいたりしながら、少しずつ研究を固めていきます。芦部先生からは、内容だけではなく構成や書き方についての具体的な指導もあり、とても親身に対応していただけます。

そんな芦部先生は、とにかく優しいです!! 私たちゼミ生は些細なことでも発言がしやすく、先生はどんな発言にも真剣に耳を傾けてくださいます。芦部先生はドイツ史を専門とされていますが、芦部ゼミにはドイツ史以外を研究対象としている学生も多くいます。それでも芦部先生は、たくさん提案や指導をしてくださり、それぞれの学びがより豊かになるように導いてくださいます。



3年生芦部ゼミ実際の風景

活躍する校友／

立正人

RISSHO BITO

デフバドミントン日本代表

いとう ゆう や

伊東 勇哉さん

2021年 地球環境科学部卒業



目指すは金メダルだけ！ 音のない世界の熱いラリー

今回は、本学地球環境科学部を卒業し、全日本空輸株式会社に勤務しながら、デフリンピック日本代表に内定されたバドミントン選手・伊東勇哉さんにお話を伺いました。

ーバドミントンを始めたきっかけは

小学生の頃は硬式テニスを習っていましたが、中学にテニス部がなく、もともと経験者だった父親の影響でバドミントンを始めました。

ーデフバドミントンを始めた経緯と、その魅力

デフバドミントン(※1)を初めて知ったのは高校3年生時に地域のクラブチームの練習に参加した時。その後、大学2年の春にナショナルチーム入りしました。沼倉選手や小堀コーチから「デフバドミントン日本代表に興味はないか?」と声をかけていただかなければ、今の自分はなかったと思います。魅力は、音が全く聞こえない中でプレーをするため、ラリー中にパートナーとの会話なしに息を合わせられる点や、相手のショットを目で判断し先を読む力が必要なところ。

ーデフバドミントンで苦労した点は

大学2年生になるまでは健聴者のバドミントンをしていたので、音がない状況に最初は違和感がありました。始めた頃は接触も多かったですが、今では視野の広さが鍛えられ、接触の少なさがデフバドミントン選手の強みだと思います。

ーデフリンピック出場が決まった時の気持ちは

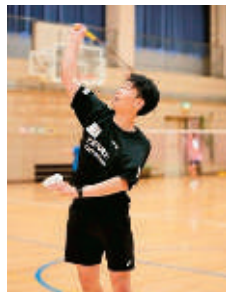
3回の選考レースと最終選考を経て出場が決まり、サポートしてくださった方々により報告ができてホッとしました。目指すのは金メダルだけです。混合団体戦ではアジア大会で金、混合ダブルスは日本1位なので、世界でも1位を目指し、厳しい練習に励んでいます。

ー大学で印象に残っていることは

子どもの頃から地図を見るのが好きで、地理学科へ入学しました。人文地理学の松井秀郎ゼミに所属し、夜遅くまで熱心に指導いただき、無事に調査報告(内容:北九州空港の利用者分布)を発表できた達成感は今でも印象に残っています。

ー学生生活の思い出は

バドミントン漬けの4年間で。年2回の合宿が特に思い出深く、仲間たちと朝から晩まで全力で練習した日々は宝物です。



ー大学での学びが今にどう生きているか

授業で聞き取れなかった部分や会話のサポートなど、耳が聞こえない私を支えてくれる人が多く、チームワークの重要性や報連相の必要性を学びました。今の仕事や競技でもその力が活かされています。

ー在学生・読者へメッセージ

私自身、大学時代に人生の新しい扉を開くことができました。みなさんも学生生活での経験や学びを振り返りながら、自分の道を見つけてください。11月のデフリンピックに向けて頑張りますので、応援よろしくお願いします!

※1 デフバドミントンとは…聴覚に障がいのある選手がプレーするバドミントン。デフ(Deaf)は英語で「聞こえない」という意味で、一般のバドミントンとルールはほぼ同じだが、競技中は補聴器や人工内耳を外してプレーすることが義務付けられている。

学部あれこれ

立正大学各学部から届いたレポートです！

法学部

法学部 社会学・教育学ゼミ「NESラボステーション」が快挙を達成！

社会学・教育学ゼミ「NESラボステーション」は、令和6年度「みどり戦略学生チャレンジ」関東ブロック大会で関東農政局長賞を受賞。さらに、令和7年度「第9回 食育活動表彰・教育等関係者の部」では消費・安全局長賞に輝くという、ダブル受賞の快挙を成し遂げました。

ゼミ生たちは、食と農の未来を考える「Z世代が考える！『未来の食と農』教育プロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトでは、環境に配慮した持続可能な食料生産や食育の推進を目指し、Z世代である学生たちが主体となって企画・運営しています。未来の食と農のあり方について多角的に考察し、それを次世代に伝えるための教育プログラムを開発。ワークショップやイベントを通じて、食の重要性や農業が抱える課題などについて、多くの人に問いかけています。

今回の受賞は、ゼミ生たちの活動が単なる学生の

自主活動にとどまらず、社会的な課題解決に貢献する高い可能性を秘めていることが評価された結果と言えます。特に「みどり戦略学生チャレンジ」では、環境負荷低減と食料安定供給の両立を目指す国の「みどり戦略」に沿った実践的な取り組みが高く評価されました。また「食育活動表彰」では、その独創性と教育的効果が認められ、食育推進における重要な役割を担う団体として表彰されました。

代表の高橋 鈴音さん(3年)は、「今後も生産者と消費者をつなぐ架け橋となり、食や農について考える輪を広めていきたい」と前を向きます。ゼミ生たちは、今回の受賞を励みに『未来の食と農』教育プロジェクトをさらに発展させていくことでしょ。今後の活動が、より多くの人々に食と農への関心を深め、持続可能な社会の実現に向けた具体的な行動を促すきっかけとなることが期待されます。



みどり戦略学生チャレンジ



フィールドワーク



学生による授業

心理学部

在校生対象
大学院臨床心理学専攻入試説明会 開催

6月18日に在校生対象の大学院臨床心理学専攻A日程入試説明会が行われました。徳丸 享専攻主任の挨拶にはじまり、専攻の研究指導や実習体制の特長、入試制度や奨学金等に関する説明、最後に全体の質疑応答が行われました。

国民の心の健康の保持増進に寄与することを目的に、2017年に国家資格である公認心理師が誕生しました。受験資格取得にはいくつかのルートがありますが、現在のところ大学で所定の単位を修得[4年]+大学院で所定の単位を修得[2年]が主流となっています。心理学部は2018年度から公認心理師カリキュラムを整備し、特に臨床心理学科では多くの学生が資格取得を目指し、カリキュラムを履修しています。

学部レベルでの必要な単位を修得した学生の多くは、

本学や他大学の大学院を受験します。学部4年次は実習や卒業論文に取り組みながらの受験勉強と、心身のタフさが求められます。さらに大学院入学後も演習・実習を中心とする授業や学内外での臨床実習、修士論文の提出に加え、修士2年の3月には国家試験が待ち受けています。なお、一昨年度から国家試験の大学別合格者数が公表されています。本学卒業生の合格者数は、2023年度は全国5位、2024年度は全国6位となりました。多くの卒業生が、決して平坦ではない道を乗り越えて専門職の道を歩んでいることを頼もしく思うとともに、大学院入試説明会に参加した学生たちもその後に続き、心理支援を担う人材として巣立っていってくれることを願っています。



大学院入試説明会の様子



専攻主任挨拶

地球環境科学部

4月から着任した先生方をご紹介します

2025年4月、地球環境科学部 環境システム学科は5人の先生方を迎えました。先生方に自己紹介を書いていただきました。

村中 孝司 教授(植物保全生態学研究室)

研究室に所属する情熱的な学生たちとともに植物の分布や生態に関する研究を行っています。5月27日、荒川でクマツヅラという埼玉県での絶滅危惧植物を1人の学生が発見しました。今後は、キャンパスがフィールドに恵まれているという本学の特性を生かし、研究を発展させていきたいと考えています。

村上 加枝 特任准教授(環境政策学研究室)

国や自治体での環境行政の経験を生かし、地域スケールの問題から地球環境問題まで、環境政策の視点から分析を行っています。消費社会化が進む大都市

において、電力需給や産業構造等が変わる中で地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量がどう変動しているのかを研究しています。

中村 祐輔 助教(都市大気環境研究室)

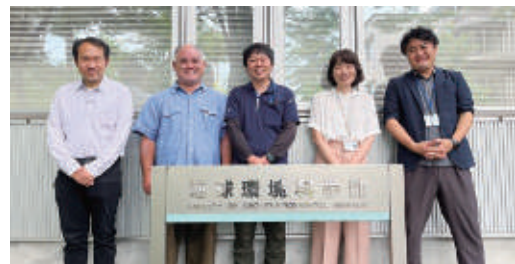
専門は都市気象学や生気象学で、都市の暑さや体感温度、気象観測に関する研究を行っています。授業では、天気のおくみを身近な例と結びつけて、わかりやすく伝えるよう心がけています。学生とともに気象の不思議や面白さを探究していけたらと考えています。

古郡 憲洋 助教(里山保全生態学研究室)

専門は群集生態学や保全生態学で、普段は里山における人間活動と水生昆虫や土壌動物等の生物群集の関係性やこれらが駆動する物質循環機能について調査研究を行っています。

まつ の あきひろ 松野 晃大 助教(水文・土壌環境研究室)

専門は水文学で特に土壌や地盤などの間隙について、それを利用した環境浄化や水循環の把握を研究しております。フィールドワークで海外に行くのが好きです。



左から松野晃大助教、村中孝司教授、古郡憲洋助教、村上加枝特任准教授、中村祐輔助教



RISSHO JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

立正大学付属立正中学校・高等学校

体育祭盛大に実施される



6月10日に中学、6月11日に高校の体育祭が大井ふ頭ホッケー競技場で開催されました。両日とも小雨が降る中での開始となりましたが、生徒たちは元気よく走り回り、スタンドからは保護者や仲間からの大きな声援と拍手が沸き起こっていました。

中学は「ジャンボバトンリレー」「短距離走」「二人三脚走」「台風の目」などの種目がクラス対抗戦で行われました。平日にも関わらずたくさんの保護者の方たちで賑わいました。

高校は集団演技に力を入れた種目が目を引きました。男子の「デンマーク体操」女子は「ソーラン節」、またクラスを超えて「白虎」「朱雀」「青龍」「麒麟」の4ブロックにわけて大きな旗も作られ、応援合戦が展開されました。

師親会からは生徒たちにドリンクが2本ずつ配布されるサービスもありました。熱い戦いが繰り広げられた体育祭となりました。



先生の素顔

にし じま すず か
西島 涼香先生(国語科・書道科)



今年3月、國學院大學文学部を卒業し、母校に国語科の教員として着任いたしました。高校時代は書道部に所属し、書に打ち込む中で集中力や礼儀作法の大切さを学びました。生徒の成長を見守り、時には背中を押しながら、共に歩む教員でありたいと考えています。

現在は高校3年生の副担任として、漢文・小論文・書道の授業を担当しています。

書道の作品を通して、書の美しさ・表現力を伝えていきたいと思っています。また生徒には、学ぶことで「知らないことを知る喜び」を実感し、自分に自信を持ち自分の世界をさらに広げ、挑戦していける力を身につけてほしいと願っています。

書道の主な実績の一例

- ・高校時代「書の甲子園」入賞
- ・高文連主催書道展 3年連続最優秀賞(1位)
- ・最近「毎日書道展」に出品、東京都美術館に展示されました。



RISSHO UNIVERSITY SHONAN HIGH SCHOOL

立正大学淞南高等学校

サッカー部 激闘の3連戦

第72回中国高等学校サッカー選手権大会が行われました。総体予選を優勝し迎えた中国大会でしたが、準優勝という結果で大会を終えました。両校の懸命な応援がスタジアムの熱をさらに高め合うなか、立ち上がりで先制を許す展開に。前半22分、すぐさま同点に追いつき、その後も逆転を期待する熱い応援を力に、果敢に相手ゴールを目指しますがゴールが奪えないまま後半が終了。

延長戦に突入するも決着がつかずPK戦に入り、先攻の淞南が連続で2人止められ惜しくも(3-4)のスコアで試合終了。『勝負強さ』『日常の進化』を追い求め、今大会の課題を夏の全国インターハイに繋げ、部員全員でより高みを目指し日常を過ごしてほしいと思います。



中国大会



総体予選



中国総体

先生の素顔

きた わき か ず や
北脇 賀寿哉先生
(英語科・野球部)



令和7年度より、母校である立正大学淞南高校に着任いたしました、北脇賀寿哉です。担当教科は英語です。英語の魅力や英語を通して学ぶことのできる他文化や発想・考え方の違いを、生徒のみなさんにたくさん感じてもらえるように日々努力していきます。部活動では硬式野球部のコーチをさせていただいています。「全国制覇」という野球部の目標を達成するために、私自身がチームのためにできることを全力で頑張ります。どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

▼立正大淞南の情報をチェック



01 令和7年度 リーダー養成プログラム リーダーシップキャンプ in北海道東川町

リーダーシップキャンプとは??

全学部生を対象に、新たな発想や自身の可能性を発見できる人材の育成を目的とし、その実践のフィールドとして、地方創生の先進都市である北海道東川町でキャンプを行っています。今年度のキャンプでは、下記の3つのテーマに沿って学びを深めています。

- ①地方創生について学ぶ ②国際的な視野を広げる ③社会を経験する
- 本年度の参加者は14名で、学生たちは、約1年にわたる充実した学習機会を通じて大きく成長しています。

プログラム内容について

事前/事後学習

開催時期:6月～2月

事前学習では北海道ニセコ町の片山町長や東川町役場の方々を講師としてお迎えします。各回の講義を通じて、参加学生一人ひとりがリーダーとしての在り方を考え、自身のリーダーシップ像を形成していくことを目指します。

キャンプ

開催時期:9月1日～7日

東川町役場での業務体験や町内各所の視察、町長との意見交換などを予定しており、併せて国際交流員の方々との交流の機会も設けています。
・北海道東川町:<https://town.higashikawa.hokkaido.jp/>

報告会

開催時期:10月～12月頃予定

グループにわかれてプレゼン資料を作成し、東川町が東京でイベントを実施するタイミングに合わせて報告会を開催予定。

第1回事前学習では、東川町と並んで地方創生のアイコンとされるニセコ町の片山町長にご講話いただきました。学生たちは、特にまちづくりの政策や役場内の意識改革に関するお話に大変感銘を受けている様子でした。本キャンプの参加者の多くは首都圏在住であり、本講話を通して地方の実情や課題について理解を深める貴重な機会となりました。

事前学習第2回以降の取り組みとキャンプ当日の様子については、センターホームページに随時掲載予定です。ぜひご覧ください!!

【お問い合わせ先】

研究推進・社会貢献課（品川担当）小林 中野
（電話:03-3492-8152 / メール:skenkyu@ris.ac.jp）
センターページURL :<https://rpra.ris.ac.jp>



ニセコ町 片山町長講話(授業風景)

02 今年の秋もやってくる！ 立正大学デリバリーカレッジで“知”をお届け！

地域と大学をつなぐ知の架け橋――

「立正大学デリバリーカレッジ」が、今年度も秋期の開催を決定しました。

この取り組みは、立正大学が総合大学としての強みを生かし、本学の教員が研究で培った専門知識を地域社会に還元することを目的としています。毎年、本学の教員や名誉教授が連携地域に出向き、一般の方々に向けてわかりやすく深い学びを提供しています。まるで大学のキャンパスがあなたの街にやってくるような感覚です！

今年度の秋期も、地域のみなさまにとって新たな知識との出会いの場となるよう、充実した講座内容が予定されています。日程や講座の詳細については、自治体ホームページや地域の広報誌などで順次発表される予定です。

地域と大学がともに学び合い、成長するこの機会。ぜひご参加ください。



茅ヶ崎市で開催されたデリバリーカレッジの様子

開催地	日 程	講演テーマ	講 師
郡山市	9月23日(火)	ハザードマップを読む、使う	しまづ ひろし 島津 弘(地球環境科学部 教授)
	9月30日(火)	高齢ドライバー問題	ところ まさふみ 所 正文(心理学部 教授)
	10月 7 日(火)	『聞き書きマップ』による市民参加型のデータサイエンス	はら だ ゆたか 原田 豊(データサイエンス学部 教授)
	10月14日(火)	現代社会の諸問題を仏教の視点で考える(仏教と社会)	し みず かいりゅう 清水 海隆(名誉教授)
千葉市	10月 1 日(水)	知っておきたい! 地域を支える社会福祉施設のこと	おおほら な お み 大洞 菜穂美(社会福祉学部 助教)
筑西市	10月 4 日(土)	映像で楽しむシェイクスピアの名場面	いざわ たかし 伊澤 高志(文学部 准教授)
	11月 8 日(土)	「光る君」の時代の犬と猫:動物から探る平安時代の一面	かめい だいち り え こ 亀井 ダイチ 利永子(データサイエンス学部 准教授)
佐野市	10月18日(土)	日中の小説のはなし	や の みつ じ 矢野 光治(名誉教授)
	11月 8 日(土)	歴史にみる馬と牛-江戸・明治の日本を中心として-	たかはし み ゆ き 高橋 美由紀(経済学部 教授)
	12月13日(土)	和歌の歴史と万葉・古今・新古今	わたなべ ゆ み こ 渡邊 裕美子(文学部 教授)
座間市	11月10日(月)	夢-日本人の精神史の一コマとして	こん どう のぶ よし 近藤 信義(名誉教授)
	11月17日(月)	宮崎駿監督『崖の上のポニョ』と押井守監督『スカイ・クロラ』 -それでも「子供たち」「若い人たち」に向かうということ-	は な じり りゅういち 葉名尻 竜一(文学部 教授)
茅ヶ崎市	11月12日(水)	江戸時代村の事件簿	くり ぼら けん いち 栗原 健一(文学部 講師)
	11月14日(金)	飛鳥時代の関東の古墳	いけ がみ さとる 池上 悟(名誉教授)
三郷市	11月12日(水)	江戸時代の少子化と人口施策	たかはし み ゆ き 高橋 美由紀(経済学部 教授)
	11月17日(月)	AIによって私たちの生活はどう変わるのか	あき おか たかひろ 浅岡 隆裕(文学部 教授)

過去最高を達成した2024年度の就職率 データサイエンス学部が初めて卒業生を輩出、 学内でインターンシップ仕事体験フェアを開催

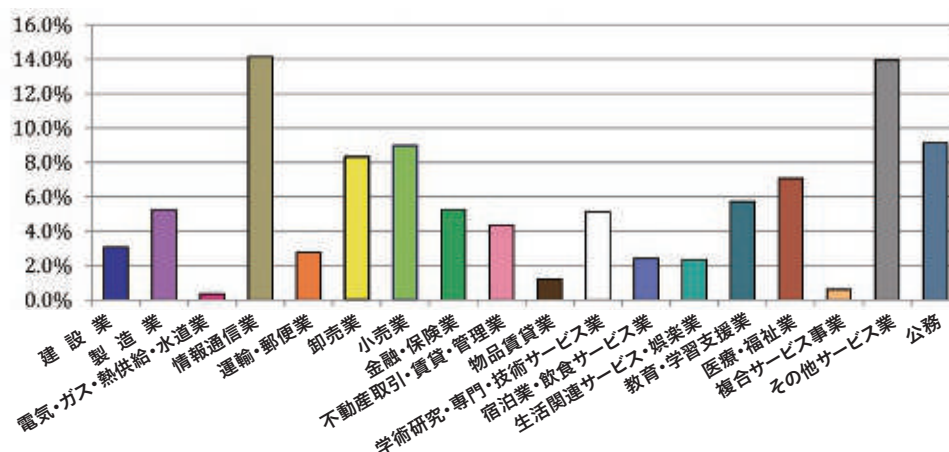


公務が伸長、2024年度本学卒業生の就職状況

2024年度の本学卒業生(2025年3月卒)の就職率は、97.7%(前年度比0.7ポイント増)となり、昨年度に引き続いて伸長し、2017、2018年度の97.1%を超えて過去最高を記録しました。

業種別就職者数では、昨年、一昨年度と上位5位までは、情報通信業、小売業、医療・福祉業、卸売業、その他サービス業の順で変動がありませんでしたが、今年度は、1位の情報通信業、2位のその他サービス業に続いて、公務が3位となり、人数としては昨年度比146%の大幅増となりました。中でも、地方公務員の行政職については2倍強となり、都府県庁から区市役所、町村役場までの、全国65の自治体に採用されました。これは、街づくりの研究など、授業での学びを生かして地域に貢献したい、盛り上げたいといった学生の熱意や努力が評価されるとともに、人柄など、人物重視の採用試験の傾向と相まった結果と言えるでしょう。

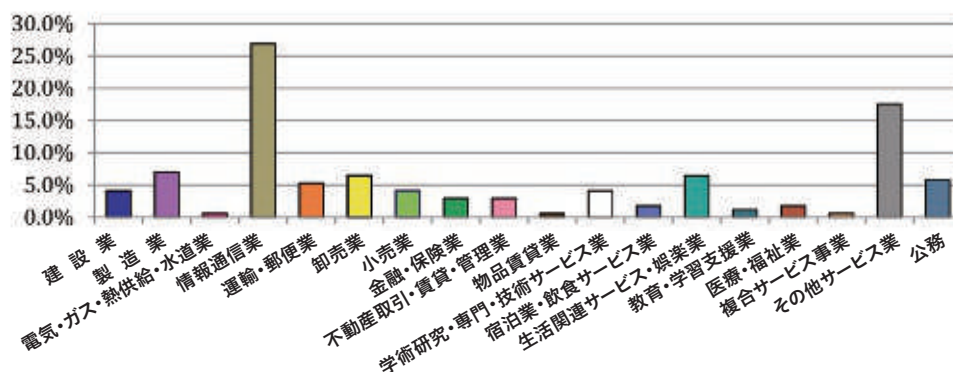
2024年度 立正大学卒業生 業種別就職割合



初の卒業生を輩出、データサイエンス学部生の進路状況

2024年度、初めて卒業生を輩出したデータサイエンス学部については、就職率98.8%となり、全学平均を上回る割合となりました。業界としては、情報通信業(26.9%)をはじめ、全学同様に幅広い業界に進みました。国内有数のIT企業に進んだ学生は、「授業で学んだプログラミング経験や取り組んだ研究内容がアピールに繋がりました」と語ってくれ、学部での学びが就職活動においても生きた例と言えるでしょう。職種別では、SE・プログラマー等情報処理技術者が35.0%となり、情報通信を専業とする企業だけでなく、メーカー等幅広い業種において、学生時代に培った数理・統計、AIやプログラミング等のデータサイエンスの知識を生かした活躍が期待されます。

2024年度 データサイエンス学部卒業生 業種別就職割合



両キャンパスで開催「インターンシップ仕事体験フェア」

ナビサイトの調査(※)によると、企業や団体で就業体験を行うインターンシップやオープン・カンパニー(以下、まとめてインターンシップ等)へは、2026年卒業予定の学生の9割以上が参加しました。参加したインターンシップ等を通じて本選考まで進んだ応募者のうち、約7割5分は内定を得ているというデータがあり、学生にとってインターンシップ等は、自己分析や業界・企業研究等、進路に向けた業界や企業に触れる最初の一步であるとともに、参加をきっかけに就職活動をスタートしていくのが、最近の大きな流れとなっています。

このように、昨今の就職活動においてインターンシップ等のプログラムは学生にとって最初のステップであり、採用者側においても人材獲得の重要な手段となっている状況を踏まえ、キャリアサポートセンターでは、学内に様々な業界から企業・団体を招き、自社のインターンシップやオープン・カンパニーについて説明していただく、「インターンシップ仕事体験フェア」を、6月に品川・熊谷の両キャンパスで開催しました。一般的にインターンシップ等は、3年生が対象ですが、低学年においても早期に社会に目を向け、業界・企業研究ができるよう、1〜3年生を対象としました(一部4年生可)。

各ブースでは、学生が熱心に説明を聞く様子が見られ、学生からは、「1年生でまだ何もわからなかったが、インターンシップや業界を知ることができた」、「ナビサイトだけでは見つけられない学部の学びに合った企業に出会えた」、「参加前は考えていなかったBtoBの企業に興味湧いた」、「社員の方から直接お話を聞け、会社の雰囲気分かりました」などの声があり、学生にとって、ネットだけでは得られないリアルな情報により、職業への意識が大きく高まる機会となり、参加者数は昨年度を上回るものとなりました。

また企業・団体の方からは、「他大学での同様のイベントよりも多くの学生に出会えた」、「キャリアビジョンが明確な学生や、1年生も参加しており、意識が高いと感じた」、「以前インターンシップで立正生を受け入れた際、非常に印象がよかった」、「昨年の同イベントから内定者が出たので、今回も期待している」などのお声をいただき、立正生への期待の高さを強く感じました。

学生のみなさんには、視野を広く持ち、様々な業界や仕事に目を向け、納得のいく進路を選択していただきたいと思います。キャリアサポートセンターでは、今後も企業・団体の方と連携しながら、学生の進路支援に取り組んでまいります。

※株式会社キャリアタス キャリタス就活 学生モニター2026 調査結果



インターンシップ仕事体験フェア(品川キャンパス)



インターンシップ仕事体験フェア(熊谷キャンパス)

サッカー部

過密なスケジュールも全力でプレー。
後期リーグ戦で巻き返す！

「第99回関東大学サッカーリーグ戦2部」が4月6日より開幕しました。6月8日までの約2ヵ月間にわたり、前期リーグ戦計11試合を戦い抜き、選手たちは日々研鑽を重ねながら熱い戦いを繰り広げました。開幕戦では順天堂大学に4-1で快勝し、好調なスタートを切ったものの、第2節から第4節では連敗を喫し、以降の試合も安定した結果を残すことができませんでした。最終的に前期リーグ戦終了時点で、成績は5勝1分5敗の7位。自動昇格圏内の2位とは勝点7差があり、後期に向けて厳しい状況となりましたが、選手・スタッフ一丸となり、最後まで粘り強く挑戦を続けていきます。

また、リーグ戦の合間には「アミノバイタル®カップ2025 第14回関東大学サッカートーナメント大会」が開催され、3度目の全国大会（総理大臣杯）出場を目指しました。初戦・法政大学に3-2で勝利し、全国大会まであと一勝と迫りましたが、続く日本大学にはPK戦の末惜しくも敗退。敗者復活戦では明治大学と対戦し、1-3で敗退となり、結果はベスト16止まりとなりました。わずか5日間で3試合という過密なスケジュールの中、選手たちは最後まで全力でプレーし、力強い姿を見せてくれました。その奮闘ぶりは、今後の後期リーグ戦での巻き返しに生かせる内容であり、チームの成長を確信させるものです。

残す公式戦はリーグ戦のみとなります。夏季キャンプで体力とチーム力の強化を図り、悲願である『関東1部リーグ復帰』に向けて、部員一同、引き続き精一杯取り組んでまいります。みなさまの温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



リーグ戦速報は
こちらから
ご確認ください。



サッカー部の
情報をチェック！



ラグビー部男子

ハイブリッドなスタイルを確立、
秋シーズンに臨む

ラグビー部男子は、春シーズンよりボールを大きく動かす新しいラグビースタイルを導入しています。従来、キックを多用し、敵陣でプレーする時間を増やすスタイルで戦ってきましたが、今回の新しい試みで、キックとパスのよい部分を取り入れたハイブリッドなラグビースタイルを確立して、秋シーズンには創部初の大学選手権に出場することを目指して、日々のトレーニングに取り組んでいます。

2名の共同キャプテン井川桃太郎（東福岡高校出身／データサイエンス学部4年）と馬越涼（大分東明高校出身／データサイエンス学部4年）、学生代表・学生コーチ・学生レフリーの檜岡大輝（秋田工業高校出身／データサイエンス学部4年）が春シーズンチームを引っ張り、チームの成長のために精一杯頑張っています。8月には、菅平夏合宿にてリーグ戦本番に向けた最終準備を行いました。

外部での活躍では、渡邊大樹（桐生第一高校出身／データサイエンス学部2年）がU20日本代表に選出され、5月16日のVs New Zealand University（ニュージーランド学生選抜）の試合（於大分スポーツ公園クラサスサッカー・ラグビー場）に後半途中出場し、トライアシストとキックでチームの勝利に貢献しました。

また、卒業生の活躍では、3月に卒業した2名が日本ラグビー最高峰であるリーグワンのチームで英姿を見せました。WILSON JUAN（埼玉パナソニックワイルドナイツ（ディビジョン1））は、3位決定戦に途中出場し、リーグワンデビューを果たしました。中森樹生（清水建設江東ブルーシャークス（ディビジョン2））は、シーズン後半に先発出場し活躍しております。新生“立正大学ラグビー部”ともども、応援よろしくお願いいたします。



共同キャプテン井川桃太郎、馬越涼、学生代表檜岡大輝のリードで、春シーズンより新しいラグビースタイルにチャレンジ中。
上から井川、馬越、檜岡

ラグビー部女子

仲間
その

■「助け合う」心で挑んだ熱戦、準優勝

6月、熊谷ラグビー場にて開催された「第12回大学女子7人制ラグビーフットボール大会」において、ラグビー部女子は準優勝という成果を収めました。

今大会では、新たに4名の1年生が加わり、チームの雰囲気もさらに活気あるものになりました。今年度のスローガン「助け合う」のもと、キャプテン山田晴菜（社会福祉学部3年）を中心に、選手一人ひとりが仲間を信じて支え合いながら試合に臨みました。

大会を通してチームは着実に力を発揮し、特に決勝戦では、その「助け合う」力がひととき強く表れました。

決勝の相手は、本大会3連覇中の日本体育大学。前半は一進一退の攻防が続き、14対14の同点で折り返しました。後半も集中力と団結力で攻め抜き、試合終了1分前までは19対14とリード。しかし、終盤に逆転を許し、惜しくも19対21で敗れました。

結果は悔しいものとなりましたが、キャプテンを中心に最後まで諦めずに声を掛け合う姿は、多くの観客に感動を与えました。また、1年生たちは初めての公式戦ながらも積極的にプレーし、チームの一員として大きな存在感を示しました。

今回の準優勝は、単なる結果だけではなく、私たちにとって“支え合うことの力”を改めて確認できた、大きな意味を持つ大会でした。

今後も「助け合う」を胸に、日々成長を重ね、さらなる高みを目指して歩み続けます。応援してくださるみなさまに心より感謝申し上げます。引き続き温かいご声援をよろしくお願いいたします。

■ラグビー部女子卒業生、世界へ挑戦！

女子ラグビーワールドカップ2025 イングランド大会に、本

クラブ等情報

硬式野球部

昇革～JUST CLIMB UP～

東都リーグに革命を起こし昇り続ける、秋は必ず2部優勝・1部昇格を成し遂げます

立正大学硬式野球部は、2025年春季リーグ戦において、6勝6敗・勝ち点2の第4位という成績でシーズンを終えました。優勝争いに加わる健闘を見せながらも、あと一歩届かず残念な結果となりました。

日々応援してくださっているみなさまのおかげで、無事にシーズンを終えることができ、部員・スタッフ一同、心より御礼申し上げます。温かいご声援をありがとうございました。

春季は、1点差で敗れる試合が3試合あるなど、悔しさの残る内容となりましたが、その中でもチームの成長と秋季リーグへの希望を感じさせる場面も多く、全体として上昇傾向が見られました。

この経験を糧に、私たちはすでに秋季リーグでの2部優勝・1部昇格を目標に掲げ、日々の練習に取り組んでいます。みなさまからのご声援は、グラウンドで戦う選手たちの大きな力になっています。これからも立正大学硬式野球部への変わらぬ応援をどうぞよろしくお願いいたします。

個人表彰について

以下の2選手が東都大学野球 春季2部リーグベストナインに選出されました！

み よ し げ ん き

三好元気(データサイエンス学部2年・外野手)

昨秋に続き2度目の受賞となりました。4番打者としてチームの軸を担い、打率リーグ3位、本塁打2本と圧倒的な成績を残し、満票での受賞となりました。

ふ く た あ つ し

福田敦士(データサイエンス学部1年・一塁手)

1年生ながら11試合に出場し、打率3割超の安定した成績で初の選出となりました。今後の成長が非常に楽しみです。



三好元気



福田敦士

さらに、2本の本塁打を放ち、捕手としてもチームを牽引した**椎木卿五**(データサイエンス学部1年・捕手)の活躍も光りました。また、1年春から登板している質のいい直球と鋭い変化球が武器の**仁田陽翔**(データサイエンス学部2年・投手)など、若手選手が秋季リーグではチームを引っ張ります。さらなる飛躍にぜひご注目ください。

を信じて「助け合う」 力が輝いた瞬間

学の卒業生7名が日本代表として出場しています。(8月22日～9月27日まで)

今回の日本代表チーム「サクラフィフティーン」のキャプテンを務めるのは、本学出身の**ながた**長田いろは選手です。ラグビー部で培った「挑戦し続ける姿勢」と「仲間を信じる力」は、強豪国がひしめく世界の舞台で大活躍しました。

立正大学から世界へ、挑戦し続ける姿を通して、女子ラグビーの魅力と可能性を広く伝えていきます。卒業生たちの活躍を、ぜひ応援願います。



陸上競技部 駅伝部門

第104回関東学生陸上競技 対校選手権大会 出場報告

5月8日～11日に開催された「第104回関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)」に、本学から4名の選手が出場しました。以下、大会結果をご報告いたします。

【5月10日】

■男子2部 3000mSC(3000m障害) 予選

あだち はるき **足立華紀**(データサイエンス学部4年)

記録:9'00"73(自己ベスト更新) 決勝進出

うつのみや こうき **宇都宮光希**(データサイエンス学部2年)

DNS(途中棄権)

【5月11日】

■男子2部 ハーフマラソン決勝

はしもとしょうた **橋本将汰**(データサイエンス学部3年)

記録:6'3"44" ※参考記録 (コース不備のため)

■男子2部 3000mSC(3000m障害) 決勝

あだち はるき **足立華紀**(データサイエンス学部4年)

記録:9'15"86(10位入賞)

■男子2部 5000m決勝

ジェレミア・カマウ (データサイエンス学部1年)

記録:14'23"68

本大会は4日間にわたって開催され、本学はうち2日間に出場しました。選手たちは、大舞台で結果を出すことの難しさを改めて実感しつつも、貴重な経験を積むことができました。

キャプテンの足立は、3000mSC予選で自己ベストを更新し、2年連続で決勝進出を果たしました。決勝では、駅伝部門として初の「関東インカレ10位入賞」という好成績を残しました。ジェレミアは1年生ながら5000m決勝に出場しました。今後の成長に大いに期待が寄せられます。

【今後の大会日程】

10月 4日 令和7年度第1回世田谷陸上競技会

10月18日 第102回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

10月18日に行われる「予選会」は1年で最も大きな目標として全員で挑む大会です。選手一人ひとりがさらなる強化に励み、チームとしてより高みを目指してまいります。引き続き、ご声援のほどよろしくお願いいたします！



橋本将汰



足立華紀



左から橋本、ジェレミア、足立

＼ 学生生活を充実させよう！／

CIRCLE 2025

立正大学サークル情報

本学には100以上の
様々な課外活動団体が活動しています。
今回は、「アメリカンフットボール部」を紹介します。

CIRCLE INFO

体育会 アメリカンフットボール部

強さを支えるものは揺るぎない信頼関係。



私たち体育会アメリカンフットボール部は、現在プレイヤー28名、マネージャー17名で活動しています。週4日(水・木・土・日)練習を行い、他大学や社会人チームとの練習試合や合同練習も定期的実施しています。さらに、夏には合宿、秋には公式戦など、1年を通して熱量の高い活動を展開しています。

アメリカンフットボールの魅力は、何と言っても、「迫力あるプレー」と「戦略性の高さ」です。強靱な体力と俊敏なスピード、そして緻密な戦術理解が求められます。個々のプレーが勝敗を左右する中でも、最終的に勝利をつかむのはチーム全体の結束力。緊張感あふれる試合で

は、仲間との信頼関係が勝負を決します。戦うことで得られるのは、技術や体力だけでなく、揺るぎない友情とリーダーシップです。

チームには、プレイヤーを支えるマネージャーも在籍しています。選手の努力や成長を見守りながら、陰からチームを支える日々の中で、多くの学びや喜びを得ることができます。直接プレーする立場ではないからこそ感じられるやりがいや達成感もあり、大学生活を豊かにする貴重な経験につながっています。

少しでも興味を持った方は、ぜひ一度グラウンドへ見学に来てください。熱意あふれる仲間たちとともに、充実した日々を過ごしましょう！

2024年度リーグ戦結果(3部Cブロック)

	埼玉大	東国大	東外大	立正大	千葉商	創価大	勝・敗・分	勝ち点	順位
埼玉大学		14○12	34○7	41○13	28○14	26○7	5-0	15	1
東京国際大学	12●14		20○14	2●10	22○6	7○0	3-2	9	2
東京外国語大学	7●34	14●20		23○15	13○7	17○0	3-2	9	2
立正大学	13●41	10○2	15●23		0●23	6△6	1-3-1	4	5
千葉商科大学	14●28	6●22	7●13	23○0		16○6	2-3	6	4
創価大学	7●26	0●7	0●17	6△6	6●16		0-4-1	1	6

▶最新結果は
二次元コードより
ご確認ください。



学生安否確認システム登録のお願い

本学では、自然災害や地震発生時に、在籍する学生の安全確保を目的とし、緊急連絡ならびに安否確認の手段としてセコムトラストシステムズが運営する「セコム安否確認サービス(e-革新)」を導入しています。

パソコンでの登録やその他詳細については、
『ポータルサイト>Myツール>キャビネット>3. 学生生活支援>
6. 安否確認システム内の各種資料』を参照してください。

企業コード:01013(半角)
ユーザーID:学籍番号(英字は大文字)
パスワード:生年月日の下4ケタ(月日)(例)4月1日 → 0401



お問い合わせ 品川学生生活課 電話:03-3492-6698 / 熊谷学生生活課 電話:048-536-6012

立正大学への寄付がふるさと納税で可能に！

5月27日より、品川区のふるさと納税特設サイトが開設され「しながわ団体応援寄附」がスタートしました。
この制度では、品川区内の学校法人を指定して寄付ができ、本学も対象団体として登録されています。
ご寄付いただくと、寄付金の7割が立正大学の教育・研究の充実に活用され、残りの3割は品川区の区政全般に役立てられます。
さらに、ふるさと納税の仕組みにより、寄付額に応じた**税金控除の対象**にもなります。
大学のさらなる発展に向け、みなさまからの温かいご支援をお待ちしております。
詳細は、品川区ふるさと納税特設サイトをご覧ください。



大学公式Instagram更新中！

大学公式Instagramでは、キャンパス内外での様々なイベント、学生の活躍、学内の最新情報をお届けしています。また、学生のインタビュー、学部紹介、クラブ活動の様子なども掲載中です。みなさまの日常に役立つ情報や楽しいコンテンツを発信していきますので、ぜひフォローして最新の情報をチェックしてください！



@RISSHO_UNIVERSITY

学園新聞Web版・公式サイト・SNSはこちらから



学園新聞
Web版



立正大学マガジン

検索



公式サイト



立正大学

検索



公式Facebook



公式X
(旧Twitter)



モラリすX
(旧Twitter)

セミナーやイベント情報、クラブ活動の様子などをSNSで配信中！
ぜひフォローしてチェックしてみてください。

本紙へのご感想をお待ちしております！

立正大学学園新聞アンケート

立正大学学園新聞編集委員会では、読者のみなさんの声をもとに、よりよい紙面づくりをしていきたいと考えております。
今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。



アンケート